

第 51 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 溶接分科会 議事録

1. 日 時:2012 年 5 月 16 日(水) 13 時 30 分～16 時 00 分
2. 場 所:日本機械学会 第3・4会議室
3. 出席者:青山(東大)、樺田(三菱重工)、茂田井(東電)、山下(神鋼)、逢澤(日立)、橋本(発電技
検)、北村(関電)、梅山(中電)、飯田(東電)
欠 席:原田(東芝)、幅野(IHI)、鈴木(日溶協)
オブザーバー:水谷(東工大)
事務局:海野(記)

4. 配付資料

- 51-1 . 第 50 回溶接分科会議事録(案)
- 51-2 . 溶接分科会委員名簿
- 51-3 . 第 59 回火力専門委員会議事録(案)
- 51-4 . 第 60 回規格委員会議事録(案)
- 51-5 . パブリックコメント募集結果
- 51-6 . JESC 技術会議審査結果
- 51-8 . JESC 審議用補足資料案
- 51-9 . ASME 規格値の取り込み方

5. 議事

(1) 前回議事録確認

[資料 51-1]

前回議事録(案)について確認を行った結果、意見等は特になく、議事録案は承認された。

(2) 分科会委員・役員の承認

[資料 51-2]

新任候補として水谷氏の推薦があったこと及び茂田井委員、山下委員、橋本委員の再任意向が報告され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会への推薦が承認された。また、三原委員の退任が報告された。茂田井幹事の委員再任手続きに伴い、幹事候補について茂田井委員が互選され(再任)、次回火力専門委員会への推薦が承認された。

(3) 報告事項

(3-1) 火力専門委員会報告

[資料 51-3]

第 59 回火力専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 溶接分科会委員・役員の承認(主査:青山委員, 新任・再任無し, 三原委員退任報告)
- ・ 第 50 回溶接分科会報告
- ・ 火力専門委員会書面投票結果報告
- ・ 規格委員会書面投票結果報告及び意見対応案
- ・ JESC用説明資料案の審議について

(3-2) 規格委員会報告

[資料 51-4]

第 60 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 火力設備規格案の書面投票結果に関する審議
- ・ 詳細規定案材料分科会関連の書面投票意見対応案と反対意見の取下げ及び投票可決の報告
- ・ 詳細規定案材料分科会関連の意見対応に伴う編集上の修正が承認
- ・ 基本規定・基本規定事例規格・詳細規定について公衆意見募集開始を承認
- ・ 基本規定・基本規定事例規格・詳細規定についてJESC審議依頼することを承認

(3-3) パブリックコメント募集結果報告

[資料 51-5]

発電用設備規格委員会運営規約に則り、発電用火力設備規格関連3件のパブリックコメント募集を行った結果について報告した。

なお、パブリックコメント募集にあたり、第60回規格委員会にて承認を受けており、運営規約に定められた開始時期及び規格種別により決められた意見受付期間(3件とも1ヶ月)を満たしていることを併せて報告した。

＜パブリックコメント募集対象(3件)＞

- ・ 基本規定(2012年版)
- ・ 基本規定(2012年版) 事例規格 発電用火力設備における高クロム鋼に対する寿命評価式について
- ・ 詳細規定(2012年版)

＜各パブリックコメント募集受付結果(3件共通)＞

受付期間:3月26日(月)～4月26日(木)

受付結果:意見なし

(3-4) 日本電気技術規格委員会(JESC)技術会議審査結果報告

[資料 51-6]

発火基準の性能規定化に伴い民間規格が発火基準および解釈において活用・引用されるために公平・中立・透明に審査を行う第三者審査機関としてのJESC(およびJESC技術会議)の位置付けについて説明した。第60回規格委員会にてJESCに審議依頼することが承認されていること及びすでに開催されたJESC技術会議での審査結果を報告した。

＜審査対象＞

- ・ 日本機械学会 発電用火力設備規格 基本規定(2012年版)とその事例規格、および詳細規定(2012年版)に関する省令への適合性

＜審査結果＞

審査日:2012年4月24日(火)

審査機関:第31回JESC技術会議(JESCの一次審査)

審査結果:特に意見無しで、出席委員全員の賛成により承認された

<今後の予定>

JESC(本委員会):2012年5月31日(木)にて最終審査実施予定。
承認されればJESCから原子力安全・保安院電力安全課に活用要請される予定。

(3-5)発電用火力設備規格 2012 年版出版に向けたクリア版原稿の作成について[資料無し]

発電用火力設備規格 2012 年版用クリア版原稿の叩き台を事務局にて作成しており、今後各分科会三役にて体裁を含め、統一的なレビューを行うことと、レビューの結果、確認・修正が必要なものがあれば各担当委員へ確認・作業依頼を行うことについて事務局から報告した。

(3-6)次期システムについて

[資料:参考]

発電用設備規格委員会ホームページ機能としてファイル共有システムを今年度秋頃導入予定であり、既に一部委員会にて試運用がなされたことを事務局より報告した。今後、必要なカスタマイズと規格委員会全体の共通運用ルールを定めていくことについて情報提供した。あわせてファイル共有システムの機能の簡単な説明と今後共通運用ルール以外の運用ルールを火力専門委員会内で統一したい旨、協力を要請した。

(4) 審議事項

(4-1)次回改訂作業について

[資料無し]

次回改訂に向けた作業の方針について審議を行い、ASME については 2011Addenda で作業を進める方針とした。

また、2012 年版改訂時の書面投票意見において、次回改訂時の宿題事項となっているものについて、次回分科会までに項目をまとめ、次回の分科会で、作業分担を含めた具体的な進め方について審議を行うこととした。

(4-2)JESC補足説明資料案について

[資料 51-8]

JESC 技術会議後にJESC事務局からの助言を受けて作成した補足説明資料案について紹介を行った。JESC 本委員会が 5 月 31 日に開催されるため、意見があれば 5 月 23 日午前まで三役へ連絡することとなった。

(4-3)ASMEからのSI値取り込みについて

[資料 51-9]

発電用火力設備規格2012年版を策定時に課題として挙げられていたASMEからのSI値取り込みに関し発電用設備規格委員会として統一ルールを決めることとなっていた件について、原子力専門委員会との打合せ内容(お互いの現状確認、今後の進め方、スケジュール)について報告し、今後、作業が発生する場合には、メール連絡にて各委員に依頼を行うこととした。

6. 次回開催予定

日 時: 2012 年 8 月 7 日(火)13:30~17:00

場 所: 日本機械学会 第 3,4 会議室

以 上